

八代市過疎地域持続的発展計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）の結果

1 意見募集の期間 令和8年1月23日（金）～ 令和8年2月4日（水）

2 意見の件数 4件

3 意見の取扱い

- ・寄せられた意見をもとに、計画（案）の修正を行うものについては、反映欄に「○」を付けています。
- ・上記以外については、今後の参考とさせていただきます。

No.	該当箇所	意見の概要	本市の考え方	反映
1		P15 集落支援員の制度について 「令和6年度 集落支援員の活動状況について（総務省）」によれば、熊本県、特に八代市の活動人数が他県と比べ、際立って低いことがわかります。泉町出身の転出者は、八代市街並びに熊本市街に多く在住しておられます。集落支援員は、町内募集に限らず、広く、八代市街、熊本市街、県外からも募集する等により集落支援員制度の積極的活用をお願いします。また、泉町は47地区に分かれており、地理的にも広範に及びます。集落支援員の数について設定目標はありますか？	集落支援員制度は、地域の課題把握や住民を主体とした集落の維持・活性化を支援することを目的に設けられた制度です。本市におきましては、過疎地域における課題等の状況把握を職員で行っておりますが、それに加え泉町においては、1名の集落支援員を配置し、定期的な地域内の巡回等の活動を行っております。今後も地域の状況や制度の趣旨を踏まえながら、配置や募集方法について検討してまいります。なお、現時点では人数の設定目標はありません。	
2		P37～38 （5）消防・防災 「消防団員の確保に取組を進めていく必要があります。」と問題認識されていますが、団員の確保に向けた対策はどのようなものがありますでしょうか？消防団施設設備整備事業は進めるとしても運用する消防団員が足りないとう有効に機能しないと考えられます。	広報誌やSNSを活用した消防団制度や活動状況について情報を発信し、消防・防災関連の会議・イベントにおいて、団員募集の広報活動を実施しております。また、入団促進や消防団活動の円滑化に繋げるため、市内事業者に向けた消防団協力事業所表示制度の登録について、訪問等による制度説明や周知活動を実施しております。今後は、地域の学生と連携した若年層視点による消防団のPR方法などの導入についても、検討してまいりたいと考えております。合わせて、消防団員の負担軽減と家族の理解・協力を得られるよう、各行事や活動内容の見直しにも継続して取り組んでまいります。	
3		P46 スクールバスの運用について スクールバスについて、柔軟な運用を検討して頂きたい。朝夕の通学時以外は、稼働していない時間帯があります。例えば、地域のコミュニティバスとしての利用とか、敬老会等のイベントでの送迎利用とかに柔軟に対応頂きたい。	スクールバスについては、児童生徒等の通学を本来の目的として運行しており、朝夕の通学時以外でも、校外学習等に利用することもあります。地域のコミュニティバスとしての利用については、運行を想定するエリアの路線バスや乗合タクシーなどの公共交通の整備状況も踏まえ、関係機関や交通事業者とも協議を行いながら、対応を検討してまいります。また、イベントでの送迎利用については、児童生徒の送迎に使用しない日に限り、これまで支所管内のまつりや敬老会、やつしろ全国花火競技大会など公務として認められる行事においては、利用を認めた場合もあります。	
4		P47 買い物サービス等支援事業について 更なる人口減少による売上減、悪路、坂道、移動距離が長い地域性から宅配・買い物サービス等の事業採算性、存続が危惧されています。現状把握と推進に注力していただきたくお願いします。	買い物サービス等の支援は、少子高齢化・人口減少が進む中、全国の自治体が共通して抱える課題であり、本市にとっても解決すべき非常に重要な課題です。現在本市では、複数の民間事業者による移動販売や買い物代行サービスなどの事業が行われている中、今年度も移動販売を行う事業者に対する車両燃料費の一部助成を行ったところです。今後も、八代市社会福祉協議会や関係各課との定期的な情報交換の場を設けるとともに、地域の現状やニーズの把握を進め、他自治体等の事例も参考にしながら、引き続き、買い物サービス等の支援に取り組んでまいります。	